

令和5年度坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校 学校関係者評価報告

坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校は、令和5年度の自己点検・自己評価結果等の報告をもとに学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

「令和6年度第1回評価委員会」

日 時：令和6年4月4日（木） 13：05～14：00

場 所：坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校 会議室

【外部委員】

医) 刀仁会	坂戸中央クリニック	院長	関根 勝
医) 刀仁会	坂戸中央病院	看護部長	八島 みどり
林法律事務所		弁護士	林 真由美
社会福祉法人	駿甲ミュニテホスピタル甲賀病院	卒業生代表	中澤 健二

【学校側】

学校長	川口 茂		
副学校長	清水 さとみ	副学校長補佐	三原 千か代
教務部長	森田 真弓	事務次長	友弘 千恵子
教務係長	吉野 里子	教務係長	阿佐美夕姫

議事

学校長挨拶

1. 報告事項

- 1) 令和5年度卒業生動向
- 2) 令和5年度在校生状況
- 3) 在校生アンケートの結果
- 4) 保護者・就職先アンケートの結果
- 5) 令和5年度授業評価総括
- 6) 令和5年度業務報告等の結果からの総括
- 7) 学校運営評価の結果と考察

2. 質疑応答及び意見交換

3. 評価3段階での評価決定

今年度は、外部委員に文書にて「令和4年度の自己評価・学校関係者による評価結果及び学校側の総括」を送付し評価委員はそれぞれから意見・評価をいただき、学校側委員とともに、その他教職員が参加をして自己評価報告に基づき意見交換を実施した。

特に商業施設での地域イベント開催や地域行事への参加協力などコロナ禍での活動自粛

が緩和されてカリキュラムが平常化されてきていることに安堵の意見が寄せられた。また2年連続の定員割れについても努力していることを認めていただけながらも危機感を示され、国家試験合格率確保するうえで一層の指導が必要との意見とともに今年度の指導方針に賛同を得られた。